

料金改定における経営目標

料金改定における財政シミュレーションをするうえで、最も重要な指標となる「当期純利益」「累積欠損金」「内部留保資金」について、目標値及び考え方を示している。

項 目	R2実績	目 標	目標の考え方	同規模団体平均 (R1)
当期純利益	2千3百万円	黒字化	目標期間（R5～R8）の単年度黒字の確保	4千9百万円
累積欠損金	0円	0円	単年度赤字（営業活動）の解消	7.82億円
内部留保資金（現金）	4.71億円	4億円	支払いで資金ショートしないための現金確保 2億円 + 災害等の緊急対応時に備えた内部留 保資金の確保	7.82億円

※ 累積欠損金は、営業活動（収益）赤字の累積

※ 同規模団体平均は、公営企業年鑑（総務省発行）より給水人口1.5万人以上3万人未満の事業を掲載